

A 海へぶらりコース

 追浜駅より徒歩15分

A-1 豊海稲荷

昔、このあたりは、稲荷谷戸と呼ばれ、海に近く、豊漁、大漁を祈って豊海稲荷を祀ったといわれています。毎年、稲荷講の初午祭りが2月に行われています。鳶で覆われた壁面に摩崖五輪塔が残っています。

 15分

A-2 筒井隧道

明治38年竣工、昭和8年改修。船越の海軍工廠造兵部拡大で六浦方面からの職工さんも増え、梅田隧道(明治20年竣工追浜最古で最も長いトンネル)経由の通勤路となりました。

昭和8年の改修で高さ7mに掘り下げられ、通勤には便利になりましたが、両側の民家は高くなり石段がとりつけられ日常生活は不便になりましたが、街は賑っていきました。

 10分

A-3 能永寺

築浦山長立院能永寺。横須賀市で唯一の時宗のお寺。古くは現在の追浜本町1丁目(浦郷村の道場)にあったという。一遍上人により建治2年(1276)開基といわれています。本尊は室町時代前期作の阿弥陀如来像。本堂の前には、この辺では珍しい枝垂れ梅の古木があります。三浦38地蔵尊の26番札所で「御胎籠地藏菩薩」が安置されています。市重要文化財の地蔵十王掛け軸、榎戸貝塚骨角器(縄文後期)が保存されています。

 10分

A-4 浦郷公園・深浦ボートパーク・深浦漁港

かつてこの一帯は能永寺の門前あたりまで海が入りこみ、榎戸湊と呼ばれ、鎌倉時代には金沢(六浦)、浦賀と並ぶ鎌倉の外港でした。江戸時代には相模湾で獲れた魚介類は「魚荷の道」を通して馬子が引く荷駄で湊に集められました。江戸湾の鮮魚と一緒に押送船で江戸の魚河岸に輸送され大いに賑いました。

近年、湊の周囲は整備され「深浦ボートパーク」としていこの場となっています。クサフグ産卵観察所、ヨット係留地等があります。追浜で唯一の漁港である深浦漁港ではワカメ大収穫祭が毎年2月に行われています。

 10分

A-5 独園寺

臨済宗建長寺派、深浦山独園寺。開山は元和2年(1616)。本尊は木造の宝冠釈迦如来像で、薬師如来、観世音、地藏尊を祀る。境内には室町時代の「やぐら」や「五輪塔」が多数残されており深浦の共同墓地的存在だったといわれています。

 10分

A-6 官修墓地

明治10年(1877)西南戦争に出陣し凱旋の途中で病死した兵士の墓。鹿児島から東京に向かっていた船中でコレラが発生。明治政府は東京への蔓延を恐れて長浦湾口に停船を命じ、箱崎半島に消毒所を設け、収容しました。しかし多くの病死者が続出、そのうち身元不明の遺体、48体が追浜地内の黒崎海岸に埋葬されました。その後海岸一帯は海軍用地とし接収され、大正2年現在地に改葬されました。毎年5月第二土曜日、追浜連合町内会の主催により、墓前祭が執り行われています。

深浦  追浜駅 

B 近代化ぶらりコース

 追浜駅より  10分 追浜車庫前より徒歩35分

B-1 明治憲法起草地記念碑

伊東巳代治、金子堅太郎が発起人となり大正15年起草地である夏島の伊藤博文別荘跡地に碑を建てましたが、一帯が日産自動車(株)の所有となり、工場建設のため、現在地に移転しました。大日本帝国憲法(明治憲法)は明治22年2月11日発布。

 20分

B-2 烏帽子巖之跡碑

源頼朝が命名したと伝えられる。歌川広重の「野島夕照」で描かれているほどの美しい島で、航路の重要な目印になっていましたが、旧海軍飛行場建設のため切り崩され、もとあった場所の近くに記念碑が建立されました。

 15分

B-3 海軍航空発祥之地碑・予科練誕生之地碑・鎮魂の碑(甲種予科練生)・貝山緑地

明治45年6月横須賀鎮守府に「海軍航空術研究委員会」設置、大正元年追浜上空で日本海軍初飛行が行われました。大正5年横須賀海軍航空隊が創設され、隣接して追浜飛行場が造られました。予科練は追浜が発祥の地で、正式名称は海軍飛行予科練習生といい、航空隊の中堅幹部を養成する目的で横須賀海軍航空隊に設置されました。昭和5年第1期生79名が入隊しましたが、さらに多人数を急速に養成する必要から昭和12年入学時要求学力を上げ、養成期間を短縮して甲種飛行予科練習生として250名を採用し、これまでの予科練生を乙種飛行予科練習生としました。このため横須賀海軍航空隊は手狭になり、昭和14年予科練は霞ヶ浦航空隊に移されました。

貝山緑地は終戦まで頂上に海軍の気象観測所と高角砲があり、見晴らしのよいところで猿島や旧海軍工廠に接岸している戦艦長門が見えたそうです。平成16年緑地を新たな観光資源にするため、有志の寄付で700本の杏子の木が植えられました。地下一帯は判明しただけで延長2kmにも及ぶと言われる貝山地下壕が海軍によって掘られており中には炊事場、かまど跡などが残されています。

 5分

B-4 第三海堡遺構

日本遺産構成文化財(平成28年文化庁認定)及び神奈川県指定重要文化財(平成30年認定)に指定された施設。東京湾、横須賀軍港防御のため富津岬～观音崎の間に築かれた三つの海上要塞の一つで、海上要塞は東京湾口にしか存在しない全国で唯一のものです。明治25年から大正10年にかけて、東京湾口水深39mのところに難工事の末設けられましたが、大正12年の関東大震災で三分の一が水没し、航行の妨げになるため、平成19年までに撤去した遺構の一部です。

 25分

B-5 旧海軍航空技術廠本庁舎跡・昭和天皇行幸碑

海軍航空技術廠は、小規模で技術も乏しい日本の航空機工業を育成するため、海軍自らが設計と製造能力を有して指導していくため昭和7年追浜に開設され、終戦間際にはロケット機やジェット機の試作もここで行われ、戦後もこの技術は新幹線の設計など復興に大きく貢献しました。

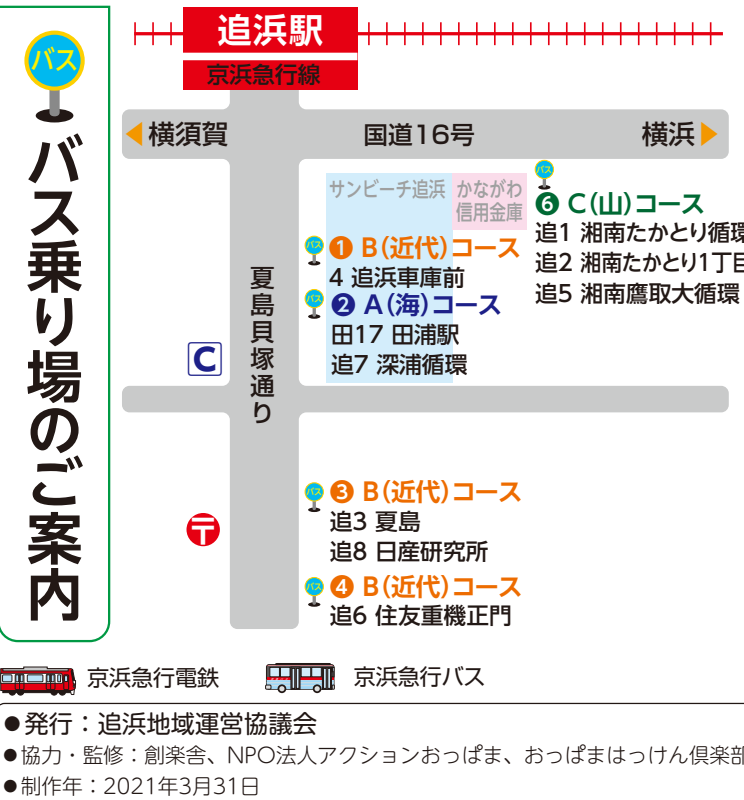
本庁舎があった場所はGHQが接収した後、旧大蔵省の管理になり、昭和37年北辰工業に払い下げられ、本庁舎は平成16年11月解体されました。

昭和天皇が海軍航空技術廠の作業や庁舎などを視察されたのを記念して、当時の廠長原五郎が昭和13年8月11日行幸碑を建立しました。

 15分



山と海と歴史の街をご紹介します



B-6 等速試験水槽路

水上機のプロトの形状などの実験のための等速試験水槽を西側に100m延長するために設けられた跨橋ですが水槽本体の延長工事は終戦までに完成しませんでした。

日産自動車前  追浜駅 

C 山へぶらりコース

 追浜駅より徒歩5分

C-1 雷神社

三浦半島屈指の古刹。祭神は火雷命(ほのいかづちのみこと)で降雨を祈る雨乞いの祭が神社の起源とされ、海上安全や災害避けの神様として信仰されてきました。天正9年(1581)、当時の浦郷村の領主であった朝倉能登守が「築島」(みずは銀行裏)から現在地に移し、再興しました。築島には「月小屋」でお籠りをしていた12名の乙女の身代わりとなり雷に打たれたといわれている柏楨(びゃくしん)の古木が現在も残されています。

 2分

C-2 傍示堂(ほうじどう)

横須賀市と横浜市の市境にあり、江戸時代、この辺りは武蔵国と相模国の国境となっており鷹取山から海に向かって天神(てんじん)山脈がのびていました。国境には番小屋が設けられ、ならず者や悪い病気が入らない様に監視していたと思われます。山中や近在にあった石仏を集め、祀っております。

鷹取山公園入口  45分

C-3 鷹取山・磨崖仏

【鷹取山】 標高139m。横須賀市、横浜市、逗子市の三市の市境にある山で、石材を採取した後の切り立った岩壁の山から「湘南妙義」の別名で呼ばれています。明治20年頃から大正初期までを中心に、鷹取石を採取。耐火性に優れた石は家庭用カマドや土蔵、塀、また、第三海堡の建設などにも利用されました。

展望台からの眺めは抜群で、富士山や丹沢の山々は勿論、江の島のある相模湾、伊豆大島が浮かぶ太平洋、東京湾を挟んで房総半島などの雄大なパノラマを楽しむことができます。桜やツツジの名所でもあります。

【磨崖仏】 山中の岩の壁面には昭和35年頃から彫刻家、藤島茂氏により「釈迦如来」、「弥勒菩薩」が彫られました。「釈迦如来像」は宅地造成で取り壊されましたが、像高約8m、像幅約4mの巨大な「弥勒菩薩像」が残されています。両足を組んだ「弥勒菩薩像」はわが国では初めてです。

 40分

C-4 首斬観音

お堂の正面には「首斬観音」(松竹庵梅月 書)と彫られた碑があります。この場所が処刑場であったか知る由もありませんが、大正末期の国道工事の際、頭蓋骨等が発見され、地元の人達が石塔を立て供養しています。

 10分

C-5 良心寺 朱印地

久遠山大悲院良心寺。浄土宗、京都知恩寺末で本尊は阿弥陀如来。寺名はこの地に館を構えた後北条氏の家臣、朝倉能登守の夫人の戒名「良心大姉」によります。幕府から朱印地として15石を受け、大名並みの扱いをうけたといわれています。

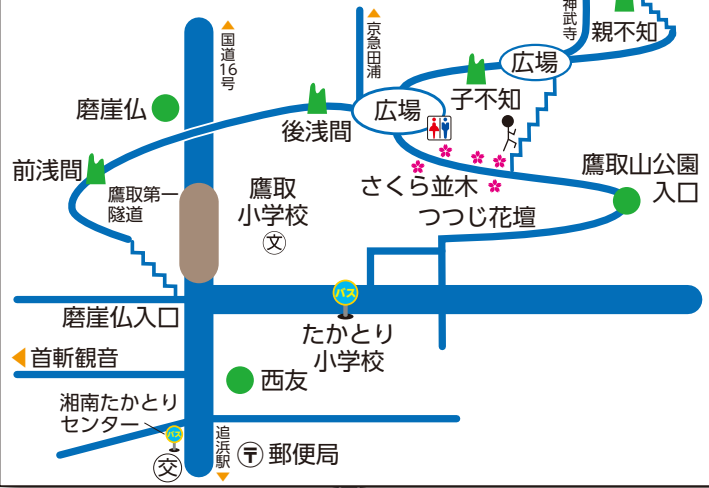
 5分

C-6 浦郷陣屋跡

戦国時代の武将朝倉能登守が浦郷領主の時、最初の陣屋がおかれたといわれています。陣屋では、税の取り立て、治安の維持、法の取り締まり等が行われた。やがて江戸時代、幕府の天領となり、再び陣屋が設けられ前橋藩、川越藩、会津藩などがこれにつき、江戸湾の防備にもあたった。その様子は「相中留恩記略」に描かれているだけである。

 5分 追浜駅 

鷹取山公園案内図



おっぱマップ



- | | |
|---------|-------------|
| ● 史跡・旧跡 | □ コンビニ |
| ● 公共施設 | ⊗ 学 校 |
| ● 商業施設 | 卍 寺 院 |
| 消 消防署 | 卍 神 社 |
| 交 交 番 | ● 庚申塔・一石五輪塔 |
| 病 病 院 | ⚡ 発電所 |
| トイ トイレ | ⚡ 変電所 |
| 〒 郵便局 | ● 車止め |
| 公衆浴場 | 階段 |
| 市境 | ハイキングコース |

第三海堡遺構
毎月第1日曜日
(1月は第2日曜)
一般公開日